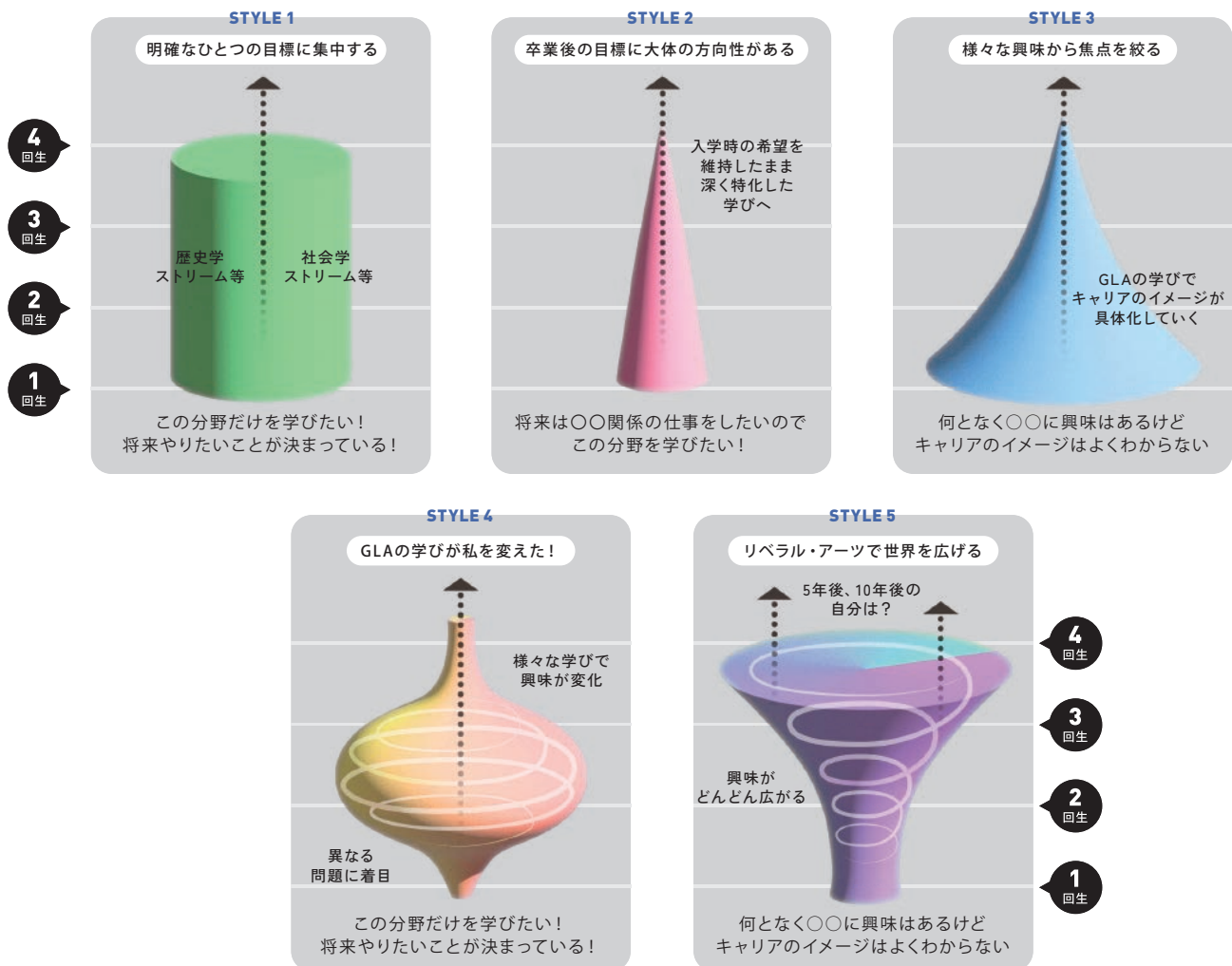


GLAの学びのスタイル

GLAの学びの最大の強みは、文理にまたがる様々な科目を幅広く学べることにあります。自分の興味を掘り下げること、逆に知識の幅を大きく広げることできます。卒業後の進路を見据え、自分にぴったりの学修スタイルをテイラーメイドで編み出していきるのは、リベラル・アーツ学部ならではの醍醐味です。

以下は、そんなGLA生の代表的な学修スタイルです。みなさんは、どのスタイルがいいですか？

哲学	歴史学	政治学
経済学	社会学	文化研究
国際関係論	情報工学	経営学
デザイン学	心理学	持続可能な社会



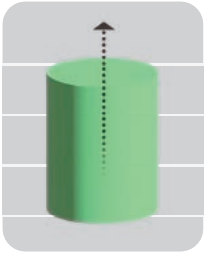
自分だけの学びを「組み立てる」

GLA生一人ひとりの、入学時のキャリアイメージを出発点に、大学4年間の学びと学生生活の「組み立て」が始まります。最初から明確な組み立て図があってもよし、なくてもよし。大学だからこそ、たくさん迷い、試行錯誤しながら、自分だけの学びを「組み立てて」いきます。

色々なことにチャレンジしながら、これから始まる10人のストーリーを参考に、自分だけの履修計画と大学4年間の目標を作り出してってください。長期的履修計画と目標を見据えながら「学んで振り返る」を繰り返し、自分自身の探究を進めていきましょう。

5つの学修スタイル・さまざまな4年間の過ごし方

スタイル	どんな4年間	Aさん～Jさん	GLAカリキュラムの特徴 / 学びのアドバイス
STYLE 1 明確な ひとつの目標に 集中する	A 特定の学問分野の学びに 集中する4年間	「大学院に進みたい！」 というAさん	Step-by-stepのシステマチックな学び <ul style="list-style-type: none"> 大学院進学につながる基礎から応用までの力を蓄えることができます。ANUを含めた4年間の学修からは国際関係学、地域研究、歴史学、社会学、開発学、戦略研究へ、GLAが提供する他の学問領域でも、大学院進学に向けたアドバイスを受けられます。 大学院を目指す場合は、希望専門分野の基礎知識を学ぶため科目概要等で関連科目の確認を。 外交官を目指すなど、特定の資格試験を考えている人は、国際関係系統の科目に集中する方法も。
	B 日本語習得と 日本理解に集中する4年間	「とにかく日本のことを知りたい！ 日本の企業で働きたい！」 というBさん	将来のキャリアに活かせる日本語習得 <ul style="list-style-type: none"> 日本語知識ゼロで入学しても、卒業までにN1を取得できるカリキュラム体系を用意。 (日本語知識ゼロから卒業時のN1取得には、非常にインテンシブな学習が要求される。卒業後すぐの日本就職を希望する場合は、大学入学時に中級レベルから学習を進められるよう入学前からの準備が望ましい)
STYLE 2 卒業後の目標に 大体の方向性がある	A 進路の実現に向けて 知識を深める4年間	「途上国の貧困問題を解決するために、 現地の教育に貢献したい！」 というCさん	インターンシップも学びの一環というアプローチ <ul style="list-style-type: none"> インターンシップは単位に換算可能。インターンシップを通じてより鮮明なキャリアイメージを掴み、科目選択にも反映。
	B 憧れの企業での就職に 向けて学ぶ4年間	「GAFAsで働きたい！」 というDさん	ANUとGLAの学びの連関 <ul style="list-style-type: none"> ANU留学前に自分のキャリアやテーマを考え、ANUでそのアジア太平洋の文脈における意味合いを考えられる素地を提供。
	C 自分の興味を追求するために 学ぶ4年間	「世界のさまざまな場所・人・文化に 触れる仕事をしたい！」 というEさん	低回生と上回生に分けたキャリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 低学年時のキャリア科目で、自己理解と他者理解を広げながらキャリアの視野を広げ、自分のキャリアを見定めていく。 低学年時に卒業後のキャリアが具体化しなくても、ANU留学からの帰国後に、具体的なキャリア像模索をサポート。
STYLE 3 様々な興味から 焦点を絞る	A 漠然と憧れる職業をもとに 進路を模索しながら学ぶ4年間	「国際機関で働くことに憧れているけれど、 まだ具体的に何をしたいかわからない！」 というFさん	国際機関就職のステップとしての大学院進学 <ul style="list-style-type: none"> 国際機関就職のスタートラインは大学院での修士号の取得。 国際機関での仕事も国際公務員になる方法と外部の研究機関に所属してコンサルタントとして関わる方法など、様々な方法がある。 外交官を目指す人は、各国でどのような公務員試験の受験が必要とされているかを早めに調べておきましょう。日本の場合は外交官試験の受験が必要で、集中した外交官試験の準備が必要となります。
	B 課外活動をヒントに進路を 模索しながら学ぶ4年間	「環境問題に興味があるけれど、 まだ具体的に何をしたいかわからない！」 というGさん	課外活動やボランティア活動が就職活動のきっかけに <ul style="list-style-type: none"> 大学生活は教室だけではない。外に出てさまざまな経験を。
STYLE 4 GLAの学びが 私を変えた！	A 自らの関心が 発展的変容を遂げる4年間	「観光に興味があったけれど、 GLAで学ぶうちに移民問題に 興味が変わった！」 というHさん	Liberal Arts Experience <ul style="list-style-type: none"> 現実世界における問題を、フィールドワークを通してプロジェクトベースで解決策を立案していく。
	B 将来の新たな可能性を 切り拓く4年間	「ゲームに興味があったけれど、 GLAで学ぶうちに別の分野で起業した！」 というIさん	最終学年でのリサーチセミナーでも色々な関心に柔軟に対応 <ul style="list-style-type: none"> リサーチセミナーでは学生自らの自由な課題設定が可能。
STYLE 5 リベラル・アーツで 世界を広げる	長期的なキャリア・ デザインの視点に立ち、 知見を広げ続ける4年間	「文系分野だけでなく理系分野も学び、 将来は文理の垣根を越えた イノベーティブな仕事をしたい！」 というJさん	どの分野でも即戦力となる「知の技法」を身につけながら、 長期的視野にたった学びが可能。 <ul style="list-style-type: none"> 大学でのリベラル・アーツの学びやそこでの実践は出発点。一生続く道を支えるのが知の技法やコミュニケーション能力。 上回生になってから新たな興味を持って、導入科目を含む自由な科目選択が可能。



STYLE 1-A

明確なひとつの目標に集中する：
特定の学問分野の学びに集中する4年間
「大学院に進みたい!」というAさんの場合

大学4年間の目標

- ① 大学院進学を前提に歴史学の基礎から上級までを深く学ぶ
- ② アジア地域の歴史についての知識を深める
- ③ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ④ 批判的思考力や研究力を向上させる

◆ = 1単位

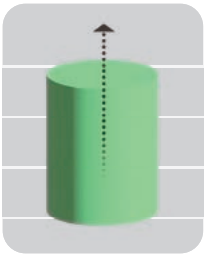
回生 / 学期	正課科目				単位	課外講座 課外活動		
	必修ストリーム		歴史学ストリーム	その他の科目				
4	秋	GLA 3001 Res Sem 歴史学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	HIST 2003 Historiography ◆◆◆◆	8	大学院 受験準備		
	春	GLA 3001 Res Sem 歴史学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	LASS 2000 Sp Lec ◆◆◆◆			8	
3	秋	ANU 留学		HIST 2001 Hist Workshop ◆◆◆◆	4			
	春							
2	秋	ANU 留学						
	春	ANU 留学		HIST 2002 Asia & World in Hist Perspect ◆◆◆◆	HIST 2004 Mat Cul & Glob Hist ◆◆◆◆	SOC 2003 Glo Hist Sociology ◆◆◆◆	12	
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		HIST 1001 Intro to Hist Methods ◆◆◆◆	HIST 1003 Intro to Jpn Hist ◆◆◆◆	LAHU 2000 Sp Lec ◆◆◆◆	18	
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		HIST 1002 Intro to Glob Hist ◆◆◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆		
TOTAL CREDIT					66			

● Aさんの4年間の学びのストーリー

入学時、歴史学で大学院に進学したいと思っていたので、一貫して歴史学の科目を中心に履修する計画を立てました。また、卒業後に一旦就職することも選択肢として残っていたので、1回生でキャリア科目も履修しました。しかし2回生になって、大学院進学の意志が固いことに気づいてからは、ANU留学中も歴史学の科目を中心に履修しました。3回生では、歴史学のなかでも「中国社会」に着目し、大学院受験の準備を進めながら、4回生のリサーチ・セミナーで、清代中国の農村社会をテーマに卒業論文を書きました。

学びのアドバイス

- ・ GLAでは、12の学問分野から学生がいくつかの学びたい分野を選び、Step-by-Stepで基礎から応用までを体系的に学び、大学院進学につながる力を養うことができます。また、それぞれの分野の教員から、大学院進学に向けたアドバイスも受けることができます。
- ・ 大学院進学を目指す場合は、希望する分野の基礎知識をGLAで学ぶために、事前にGLA科目概要 ([リンク](#)) と ANU 科目一覧 ([リンク](#)) を確認してください。



STYLE 1-B

明確なひとつの目標に集中する： 日本語習得と日本理解に集中する4年間

「とにかく日本のことを知りたい！日本の企業で働きたい！」
というBさんの場合

大学4年間の目標

- ① 日本の政治・社会・経済を総合的に学ぶ
- ② 3回生の秋学期までにN1を取得する
- ③ アジアの中の日本を理解する
- ④ 日本企業で働くための基礎を固める
- ⑤ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑥ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生/学期	正課科目						単位	課外履修 課外活動			
	必修ストリーム		語学ストリーム			日本を総合的に学ぶ			日本企業で働くための基礎を固める		
4	秋	GLA 3998 Thesis 企業文化 ◆◆	GLA 3001 Res Sem 日本語 ◆◆	JPNS 3023 キャリア 日本語b ◆			BAIS 2002 Glob Bus Strat ◆◆	7			
	春	GLA 3998 Thesis イノベーション ◆◆	GLA 3001 Res Sem 日本哲学 ◆◆	JPNS 3031 日本語VII ◆	JPNS 3041 日本語VII ◆	JPNS 3012 日本語VII ◆				BAIS 2001 Glob Mgmt Stu ◆◆	9
3	秋			JPNS 3032 日本語VII ◆	JPNS 3042 日本語VII ◆	JPNS 3013 日本語VII ◆			3	就職活動	
	春			ANU 留学							N1取得
2	秋							8	N1 課外講座		
	春									JPNS 3001 日本語上級 ◆◆	
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		JPNS 2002 日本語中級2 ◆◆		HIST 1003 Jpn Hist ◆◆◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	ECON 1001 Market Econ ◆◆◆◆	GLA 2282 Internship ◆◆	20	N2 課外講座
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		JPNS 2001 日本語中級1 ◆◆		LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	BAIS 1001 Innov & Knwl ◆◆◆◆	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	18	インターン シップ (夏休み)
TOTAL CREDIT							65				

● Bさんの4年間の学びのストーリー

卒業後は日本企業で働きたいと思っていたので、就職活動が始まる3回生の秋学期のはじめまでに、N1取得を目指しました。また、就職の基礎を固めるために、日本を総合的に理解するための科目やキャリア科目、また経済学・経営学の科目を履修し、さらに1回生の夏休みに日本企業のインターンシップに参加しました。3回生の秋学期は就職活動に集中するため、履修科目数を減らしました。4回生のリサーチ・セミナーでは、日本における企業文化の変革をテーマに、卒業論文を書きました。

学びのアドバイス

- ・ GLAは、日本語が全く分からない場合でも、卒業までにN1を取得できる日本語学習のカリキュラムを用意しています。ただし、ANU留学も含めた4年間を通じて、授業以外でも自分自身で日本語の勉強を続けることが必要です。
- ・ 卒業後すぐに日本での就職を目指す場合は、3回生の12月頃までにN1を取得することがポイントです。そのためには、1回生から中級レベルの日本語学習を始めるように、入学前から勉強を始めましょう。



STYLE 2-A

卒業後の目標に大体的方向性がある： 進路の実現に向けて知識を深める4年間

「途上国の貧困問題を解決するために、現地の教育に貢献したい！」
というCさんの場合

大学4年間の目標

- ① 途上国の貧困問題をめぐる様々な問題を総合的に学ぶ
- ② アジア地域についての知識を広げる
- ③ NGOで働くための基礎を固める
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生/学期		正課科目				単位	課外履修 課外活動	
		必修ストリーム		回生が進むにつれて、進路を実現するために必要な知識を広げることができる科目を選択				
4	秋	GLA 3001 Res Sem マイクロ ファイナンス ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	SOC 2005 Int'l Migration ◆◆		6	就職活動をし ながら途上国支 援に関わる知 見を深める	
	春	GLA 3001 Res Sem 社会調査 ◆◆		ECON 2001 Inst & Eco Growth ◆◆◆◆	LAST 2001 Ocean & Soc ◆◆	8		
3	秋			POLS 2002 Politics of Hist ◆◆◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	6	就職活動	
	春	ANU留学						
2	秋	ANU留学					NGOで働くた めの基礎を固 める科目	
	春		SOC 1001 Intro to Res Methods in Soc Sci ◆◆◆◆	DESN 1001 Intro to Comm Dsgn ◆◆◆◆	MSOM 2001 Proj Mgmt ◆◆	10		
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	ECON 1001 Intro to Market Econ ◆◆◆◆	PHIL 1001 Intro to Phil Values & Soc ◆◆◆◆	CLST 1001 Intro to Cul Stu ◆◆◆◆	GLA 2182 Intern ◆	19	インター シップ (夏休み)
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	EDU 1001 Intro to Ed ◆◆	LASS 1101 Intro to Anthro ◆◆	JOUR 1001 Intro to Journal ◆◆	POLS 1002 Intro to IR ◆◆	
TOTAL CREDIT						65	アジア地域の 国際関係・経済・ 文化・教育を 幅広く理解する	

● Cさんの4年間の学びのストーリー

卒業後は、途上国の貧困問題の解決に向けて働くために、国際協力団体に働きたいと思っていたので、1回生から途上国の貧困問題を総合的に学ぶよう、国際関係・経済・文化・教育などに関する科目を幅広く履修しました。また、1回生の夏休みにベトナムのNGOのインターンシップに参加し、さらにプロジェクトマネジメントや現地調査に関する知識が必要であることに気づきました。2回生では社会調査・ウェブデザイン・プロジェクトマネジメントの科目を履修し、ANU留学では、アジア地域の政治や社会についての科目を履修しました。3回生では、就職活動をしなが途上国支援を知るための科目を履修、4回生のリサーチ・セミナーでは、マイクロファイナンスと社会調査についてのゼミを選択しました。卒業研究では、ニーズ調査からマイクロファイナンスのシステム構築までの企画書を完成させました。

学びのアドバイス

- ・ GLAは、一定の条件を満たしたインターンシップについて、勤務時間数に応じて単位に換算する仕組みを用意しています。
- ・ 授業で得た知識をインターンシップで実践することは、卒業後のキャリアを具体的にイメージすることに繋がり、次に必要な学びを見つけるきっかけにもなります。



STYLE 2-B

卒業後の目標に大体的方向性がある： 憧れの企業での就職に向けて学ぶ4年間 「GAFA*で働きたい!」というDさんの場合

*世界的IT企業である Google/Amazon/Facebook/Appleの4社のこと

大学4年間の目標

- ① テクノロジーについてのあらゆる知識を学ぶ
- ② ソフトウェアエンジニアになるためにプログラミングスキルを修得する
- ③ 定量分析のスキルを修得する
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生/学期	正課科目						単位	課外講座 課外活動	
	必修ストリーム		回生が進むにつれて、GAFAで働くために必要な知識を探究する科目を選択						
4	秋	GLA 3001 Res Sem 政治学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	MDST 2001 Global Media Culture ◆◆◆◆			8	就職活動をしながら、 アジア社会における SNSの心理的影響に ついての知見深めるため、 心理学とジャーナリズム を学ぶ	
	春	GLA 3001 Res Sem 心理学 ◆◆		PSYCH 1001 Intro to Psych ◆◆◆◆	JOUR 1001 Intro to Jour ◆◆		8		
3	秋			GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆	CIS 2001 App Data Curation ◆◆◆◆		6	就職活動	
	春	ANU留学							
2	秋	ANU留学							情報工学・ デザイン学関連の 科目
	春		CIS 2002 Comp Music ◆◆	CLST 2001 Tech & Env in Cul Stu ◆◆◆◆	LAST 2000 Sp Lec ◆◆◆◆		10	エンジニア 課外講座	
1	秋							インター シップ (春休み)	
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	GLA 0901 LAE History ◆◆	LAST 2010 Sp Lec ◆◆	LAST 1001 Intro to Sci Thinking ◆◆◆◆	LAST 2010 Sp Lec ◆◆	LAST 1101 Intro to Biology ◆◆	18	エンジニア 課外講座
春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	DESN 1001 Intro to Comm Dsgn ◆◆◆◆		CIS 1001 Intro to Algo & Prog ◆◆◆◆		16		
TOTAL CREDIT							66	ソフトウェア エンジニアリング/ 定量分析/ コミュニケーション能力を 向上させるための科目	

● Dさんの4年間の学びのストーリー

入学時、GAFAで働くことに憧れていたため、求める人材像を調べました。テクノロジー・ソフトウェアエンジニアリング・定量分析の知識に長けていること、問題発見・解決力、英語でのコミュニケーション能力が必要であることを知り、これらを学べる科目を履修する計画を立てました。1回生では、情報工学・デザイン学関連の導入科目と、テクノロジーや定量分析関連の科目を履修しました。また、自分の強みを知り、GAFA就職に向けての基礎を固めるために、キャリア科目も受講しました。さらに、1回生終了後の春休みに、Googleの短期インターンシップに参加し、ディスカッション力が足りないことを痛感しました。ANU留学中は、アジア太平洋に関して広く学びながら、ディスカッション能力を向上させました。また、アジアにおけるSNSの心理的影響について学ぶ機会を持ち、帰国後の卒論テーマに結びつけることにしました。帰国後は、就職活動をしながら、ミャンマー政変におけるFacebookの心理的影響をテーマに、卒業論文を書きました。

学びのアドバイス

ANU留学前から、自分の進路や研究テーマを、少しずつ考えておくことをお勧めします。自分のやりたいことや将来像がどのような意味を持つのかという視点を持って留学することは、自分のキャリアを深く考えるきっかけになるでしょう。



STYLE 2-C

卒業後の目標に大体的方向性がある： 自分の興味を追求するために学ぶ4年間

「世界のさまざまな場所・人・文化に触れる仕事をしたい！」
というEさんの場合

大学4年間の目標

- ① 異文化理解力を深める
- ② 日本文化を理解する
- ③ 世界の時事問題に詳しくなる
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生 / 学期	正課科目				単位	課外履修 課外活動			
	必修ストリーム		自分の興味を追求しながら進路を考える						
4	秋	GLA 3001 Res Sem 社会学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	SOC 2005 Int'l Migration ◆◆		6	就職活動 しながら、 移民問題について 知見を深める		
	春	GLA 3001 Res Sem 文化研究 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	SOC 2004 Glo Soc ◆◆	8			
3	秋	ANU 留学		GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆	ARTH 2002 Hist in Mod & Comtemp Art ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	6	就職活動	
	春								
2	秋						日本の政治社会・ 哲学・日本語を履修		
	春			ARTH 2001 Glo Art Hist ◆◆◆◆	PHIL 2002 Jpn Phil ◆◆◆◆	POLS 2003 Cont Jpn ◆◆		10	
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		CLST 1001 Intro to Cul Stu ◆◆◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	GLA 0901 LAE Australia ◆◆	JPNS 1002 日本語初級2 ◆◆◆◆	17	自分の興味を 深めるため、 芸術論・文化論・ 歴史学・社会学 の導入科目を履修
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	ARTH 1001 Intro to Art Hist ◆◆	HIST 1002 Intro to Glo Hist ◆◆◆◆	JPNS 1001 日本語初級1 ◆◆◆◆	17	
TOTAL CREDIT						64			

● Eさんの4年間の学びのストーリー

高校生の頃から、旅行や異文化交流が好きで、海外の人と英語で話すことに興味があったので、異文化理解力を深める科目を履修する計画を立てました。キャリア・デザイン科目で、異文化理解のためには歴史を学ぶことが大切であると気づき、世界の様々な国や地域の芸術・歴史・宗教を学ぶ導入科目を履修しました。また、日本文化も知りたいと思い、日本の政治社会・日本哲学や日本語を履修しました。ANU留学中はアジア太平洋を中心とした世界の時事問題への理解を深めました。帰国後、就職に向けて準備をする中で、キャンピングアテンダントになれば自分の興味を仕事に活かせると思い、採用試験に向けて準備を進めました。4回生では、グローバル社会の実像について学びながら、リサーチ・セミナーで移民が自らの文化を大切にできる社会のあり方を研究しました。

学びのアドバイス

GLAは、学生が自分自身で将来のキャリアをデザインするために、正課授業としてキャリア科目を用意しています。低回生向けの授業では、自己理解と他者理解を深めながらキャリアの視野を広げ、自分の方向性を見定めることを目指します。上回生向けの授業では、ANU留学を踏まえ、より具体的な進路を描くことを目指します。



STYLE 3-A

様々な興味から焦点を絞る： 漠然と憧れる職業をもとに進路を模索しながら学ぶ4年間

「国際機関で働くことに憧れているけれど、
まだ具体的に何をしたいか分からない!」というFさんの場合

大学4年間の目標

- ① 大学院でも通用する国際問題の学術的知識を得るために、国際関係に関連する科目を学ぶ
- ② 国際問題の中でも、特に開発援助について理解を深める
- ③ アジア地域の国際関係について理解を深める
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や研究力を向上させる

◆ = 1単位

回生/学期		正課科目				単位	課外講座 課外活動		
		必修ストリーム	1-2回生で国際関係に関わる導入科目を選択し、3回生以上でひとつの分野に特化して学ぶ						
4	秋	GLA 3001 Res Sem 経済学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆			6	大学院 受験準備	
	春	GLA 3001 Res Sem 国際関係論 ◆◆		ECON 2001 Inst & Econ Growth ◆◆◆◆					
3	秋		LASS 2010 Sp Lec ◆◆	GLA 0901 LAE Nepal ◆◆			4	大学院受験の 準備をしながら、 開発援助に 特化して学ぶ。	
	春	ANU留学							
2	秋	ANU留学							
	春		LAST 1002 Intro to Sci & Tech ◆◆◆◆	PHIL 2001 Iss in Ethics ◆◆◆◆	POLS 2001 State-Bldg ◆◆◆◆			12	
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	PHIL 1001 Intro to Phil: Values & Soc ◆◆◆◆	HIST 1001 Intro to Hist Methods ◆◆◆◆	POLS 1001 Intro to Pols ◆◆◆◆			18	国際関係に 関わる導入科目 を幅広く履修
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	ECON 1001 Intro to Market Econ ◆◆◆◆	SOC 1001 Intro to Res Methods in Soc Sci ◆◆◆◆	POLS 1002 Intro to IR ◆◆			
TOTAL CREDIT						64			

● Fさんの4年間の学びのストーリー

入学時、SDGsを推進するために国際機関で働くことに何となく憧れを持っていました。国際機関について調べうちに、国際公務員という職業があること、そのためには英語で修士号/博士号を取得するプログラムに参加しなければならないことを知り、卒業後は英語圏の大学院に進学することを目標にしました。しかし、大学院で何を専門にするかまでは分からなかったため、ANU留学前は、国際関係に関わる導入科目を幅広く履修しました。ANU留学中は、国連と関連する科目を履修し、アジア太平洋における国際機関の役割を学びました。これらの学びを通じて開発援助に興味を持ち、3回生の秋学期からその関連科目を履修しました。そして、国際開発学が学べる大学院への進学準備をしながら、今までの授業からヒントを得て、「カンボジアにおける女性就業を通じたジェンダー支援とインフラ投資のあり方」と題した卒業論文を書きました。

学びのアドバイス

- ・国際機関に就職するためには、英語で基準の大学院で修士号を取得することが大切です。近年では多くの方が博士号も取得します。
- ・国際機関で働くためには、国際公務員の他に、研究者やコンサルタントとして関わるなど、様々な方法があります。
- ・外交官を目指す場合は、特定の資格試験を受験する必要があります。各国でどのような試験があるかを早めに調べておきましょう。日本の場合は、国家公務員採用総合職試験/外務省専門職試験となり、合格に向けて十分な準備が必要です。



STYLE 3-B

様々な興味から焦点を絞る： 課外活動をヒントに進路を模索しながら学ぶ4年間

「環境問題に興味があるけれど、まだ具体的に何をしたいかわからない！」
というGさんの場合

大学4年間の目標

- ① 環境問題に関連する科目を中心に幅広く学ぶ
- ② ANUでアジア太平洋地域における環境問題の知識を広げる
- ③ 学外で環境問題に関わる活動・実践をする（インターンシップ、ボランティア）
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

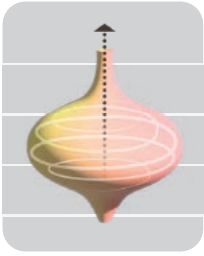
回生/学期	正課科目					単位	課外講座 課外活動		
	必修ストリーム	環境問題関連	1-2回生で環境問題に関わる科目を中心に選択し、3回生以上で就職につながる科目に特化して学ぶ						
4	秋	GLA 3001 Res Sem 経営学 ◆◆		BAIS 2003 Innov Mgmt ◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	8	企業での即戦力 につながる 科目を履修	
	春	GLA 3001 Res Sem 持続可能な社会 ◆◆		LASS 2000 Sp Lec ◆◆◆◆		MSOM 2001 Proj Mgmt ◆◆	8		
3	秋			BAIS 2002 Glob Bus Strat ◆◆	GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆		4	就職活動	
	春	ANU 留学							課外活動やインターンシップの経験が 就職のヒントになる
2	秋	環境問題に関連する科目履修						課外活動や インターンシップで 興味を探求	
	春		LAST 2001 Ocean & Society ◆◆	CLST 2001 Tech & Env In Cul Stu ◆◆◆◆	BAIS 1001 Intro to Innov & Know Mgmt ◆◆◆◆				10
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	LAST 1001 Intro to Sci Think ◆◆◆◆	LAST 1101 Intro to Biology ◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	GLA 0901 Nepal ◆◆	GLA 2282 Internship ◆◆	18	インターン シップ (夏休み)
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	LAST 1002 Intro to Sci & Tech ◆◆◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	PHIL 1002 Intro to Phil: Know & Reality ◆◆◆◆		GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	18	
TOTAL CREDIT						66		環境問題以外の 興味ある科目も履修	

● Gさんの4年間の学びのストーリー

高校生の頃から環境問題に興味があり、自主的に琵琶湖のクリーンアップ活動に参加していました。入学時、環境問題に関わるような仕事をしたいのかまでは分からず、卒業後の進路は漠然としていました。ひとまず、環境問題に関連しそうな導入科目や特別講義を履修し、またその他の興味をもった科目も履修し、幅広く学びました。また、琵琶湖のクリーンアップ活動を続け、1回生の夏休みに企業のインターンシップにも参加しました。ANU 留学中も、環境問題関連とその他の科目を履修し、アジア太平洋地域の環境問題について理解を深めました。帰国後は、課外活動の経験を振り返り、問題解決に興味があることを自覚し、コンサルティング企業に就職することを目標にしました。

学びのアドバイス

- ・ 課外活動が将来の進路を考えるきっかけになることは大いにあります。GLA入学後は、学びに多くの時間を使う必要がありますが、春休みや夏休みは授業がなく時間がありますので、昔から取り組んできた活動を続けたり、様々な課外活動に参加してみましょう。
- ・ 世界に広がる様々なチャンスを探り挑戦することは、就職活動や自身の成長の糧になるだけでなく、人生の財産になるでしょう。



STYLE 4-A

GLAの学びが私を変えた！： 自らの関心が発展的変容を遂げる4年間

「観光に興味があったけれど、GLAで学ぶうちに移民問題に興味が変わった！」というHさん

大学4年間の目標

- ① その時々自分の関心に合う科目を履修しながら、関心を発展させていく
- ② アジア太平洋地域について関心ある分野の知識を広げる
- ③ 国際協力団体で働くための基礎を固める
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生/学期	正課科目					単位	課外講座 課外活動		
	必修ストリーム		学びを通じて自分の関心を発展させながら、最終的に就職につながる科目に特化して学ぶ						
4	秋	GLA 3001 Res Sem 国際関係論 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	BAIS 2002 Glo Bus Strat ◆◆			6	就職活動	
	春	GLA 3001 Res Sem 社会学 ◆◆		MSOM 2001 Proj Mngm ◆◆	ECON 2001 Inst & Eco Growth ◆◆◆◆		8		
3	秋		GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆	SOC 2005 Int' l Migration ◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆		6		
	春	ANU 留学							
2	秋	ANU 留学							
	春		ARTH 2001 Glo Art Hist ◆◆◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	LASS 2010 Sp Lec ◆◆	LASS 1101 Intro to Anthro ◆◆	POLS 1002 Intro to IR ◆◆	12	
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		LAHU 1201 Intro to Religion ◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	HIST 1003 Intro to Jpn Hist ◆◆◆◆	LAST 2010 Sp Lec ◆◆	GLA 0901 LAE Latin America ◆◆	18
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)		ARTH 1001 Intro to Art Hist ◆◆	LAHU 1101 Intro to Lit ◆◆	HIST 1002 Intro to Glob Hist ◆◆◆◆		GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	16
TOTAL CREDIT						66			

国際協力団体への就職に役立つような科目を履修

LAE履修以降、移民問題に関連する科目も履修

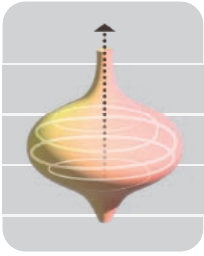
芸術学・文学・宗教学に関連する導入科目などを履修

● Hさんの4年間の学びのストーリー

高校生の頃から旅行が好きで、旅先の美術館でアートを鑑賞することに興味がありました。また、高校2年生での留学を通じて観光にも興味を持ちました。これらの興味をもとに、1回生では、芸術学・文学・宗教学に関連する導入科目を履修しました。そして、海外研修科目である Liberal Arts Experience (LAE) で南米に行き、「移民が自分のアイデンティティを大切にしながら現地でもどのように適応していくのか」について、食をテーマに研究をしました。このPBL学習を通じて移民問題に興味を持ち、ANU留学では、アジア太平洋地域の移動や移民のアイデンティティを学ぶ科目を履修しました。帰国後は、日本の外国人労働者をサポートするNGOの活動に興味を持ち、LAEでの研究内容が評価され、NGOに就職しました。

学びのアドバイス

リベラル・アーツ・エクスペリエンスは、海外研修を伴うプロジェクトベース (PBL) 型の科目で、問題発見・解決力を養う高大連携授業です。年によって渡航先は変わりますが、GLA教員とともに滞在国の様々な問題について学び、クラスメイトと協働しながら、自分のテーマに沿って研究を進めます。



STYLE 4-B

様々な興味から焦点を絞る： 将来の新たな可能性を切り拓く4年間

「ゲームに興味があったけれど、GLAで学ぶうちに別の分野で起業した!」というIさんの場合

大学4年間の目標

- ① 自分の興味に合う科目を色々学びながら、興味の幅をさらに広げる
- ② アジア太平洋地域について自分の興味に合う知識を深める
- ③ 起業するための基礎を固める
- ④ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ⑤ 批判的思考力や分析力を向上させる

◆ = 1単位

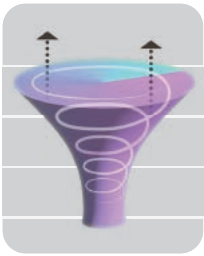
回生 / 学期	正課科目				単位	課外講座 課外活動	
	必修ストリーム		学びを通じて自分の興味を変化させながら、最終的に就職につながる科目に特化して学ぶ				
4	秋	GLA 3001 Res Sem 経済学 ◆◆	GLA 3998 Thesis ◆◆	DESN 2001 Human Factors in Interactive Dsgn ◆◆◆◆		8	起業準備
	春	GLA 3001 Res Sem 情報工学 ◆◆		MSOM 2001 Proj Mngm ◆◆	BAIS 2001 Glo Mngm St ◆◆		
3	秋			GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆	CIS 2001 App Data Curation ◆◆◆◆	6	アプリを開発して 起業するという アイデアが浮かび、 そのために 必要な科目を履修
	春	ANU 留学					
2	秋	ANU 留学					
	春		ECON 2001 Eco Growth ◆◆◆◆	PSYCH 1001 Intro to Psych ◆◆◆◆	SOC 2001 Classical Soc & Pol Theory ◆◆	10	社会学・心理学・ 経済学の科目も履修
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	LAST 1001 Intro to Sci Thinking ◆◆◆◆	SOC 1002 Intro to Soc ◆◆◆◆	SOC 1003 Intro to Hist Soc ◆◆◆◆	18	
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	DESN 1001 Intro to Comm Dsgn ◆◆◆◆	LAST 1201 Intro to Physics ◆◆	CIS 1001 Intro Algo & Prog ◆◆◆◆	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	18
TOTAL CREDIT					66		

● Iさんの4年間の学びのストーリー

入学時、将来の進路はよく分かりませんでしたが、ゲームが好きだったので、1年生ではテクノロジー関連の科目を履修しました。テクノロジーの発展には社会のあり方や人間の心理が密接に関わっていることを学び、秋学期からは社会学・心理学・経済学の科目を履修しました。中でも特にジェンダー論に興味を持ち、ANU留学中もこの分野に関する科目を履修しました。そして、南太平洋のジェンダー論に着目し、女性が付加価値をつけた太平洋島しょ国の産品を広めるために、日本で直接購入できるようアプリを開発し、起業するアイデアが浮かびました。夢を実現させるため、リサーチ・セミナーの先生に相談し、アプリ開発を研究テーマとし、またグローバル経営やアプリのデザインを考える方法を学べる科目を4年生で履修しました。卒業後、無事に会社を起業しました。

学びのアドバイス

GLAでは、上回生で興味の分野が変わっても、その時の興味に合ったリサーチ・セミナーを選び、学びを深めることができます。リサーチ・セミナーでは、学生が自由に研究テーマを設定し、将来の進路につなげる形で探究することができます。



STYLE 5-A

リベラル・アーツで世界を広げる： 長期的なキャリア・デザインの視点に立ち、知見を広げ続ける4年間

「文系分野だけでなく理系分野も学び、将来は文理の垣根を越えたイノベティブな仕事をしたい!」というJさんの場合

大学4年間の目標

- ① GLAでもANUでも幅広く科目を履修し、知識を増やす
- ② 様々な科目の学びからヒントを見つけて、卒業後の進路を決める
- ③ 英語でのコミュニケーション能力をさらに向上させる
- ④ 批判的思考力・研究力・分析力を向上させる

◆ = 1単位

回生 / 学期	正課科目			単位	課外講座 課外活動		
	必修ストリーム	様々な学問分野をまんべんなく履修し、知見や視野を広げ続ける					
4	秋	GLA 3001 Res Sem デザイン学 ◆◆	PSYCH 2002 Cog Psych ◆◆◆◆	CIS 2001 Applied Data Curation ◆◆◆◆	10	卒業後のキャリアを見据えて、現代社会のデジタル化を理解するための科目を履修	
	春	GLA 3001 Res Sem 哲学 ◆◆	CIS 1001 Intro to Algo & Prgo ◆◆◆◆		6		
3	秋		GLA 2001 Career Dsgn 2 ◆◆	SOC 2002 Contempt Soc & Pol Theory ◆◆	4	就職活動しながら、さらに様々な科目を履修	
	春	ANU 留学					
2	秋	ANU 留学					
	春		PHIL 2001 Iss in Ethics ◆◆◆◆	PSYCH 2001 Neuroscience ◆◆◆◆	SOC 2001 Classical Soc & Pol Theory ◆◆	10	友人の勧めで、心理学やデザイン学の科目も履修
1	秋	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	HIST 1001 Intro to Hist Methods ◆◆◆◆	CLST 1001 Intro Cul St ◆◆◆◆	POLS 1001 Intro to Pols ◆◆◆◆	18	
	春	Foundation Courses (◆◆ x 3 courses)	PHIL 1002 Intro to Phil: Know & Reality ◆◆◆◆	LAHU 2010 Sp Lec ◆◆	PSYCH 1001 Intro to Psych ◆◆◆◆	GLA 1001 Career Dsgn 1 ◆◆	18
TOTAL CREDIT					66		

● Jさんの4年間の学びのストーリー

1回生時は、自分の興味に合う文化研究や歴史学の科目とともに、友人の勧めで心理学やデザイン学の科目も履修し、社会と科学のつながりに興味を持ちました。ANU留学中は、文化・歴史・国際政治・経済関連の科目を幅広く履修しました。帰国後、どの科目にも興味があったので、引き続き幅広く履修し、各授業のグループワークに熱心に取り組みました。4回生のリサーチ・セミナーでは、春学期に歴史学を、秋学期にデザイン学に関するゼミを履修しました。さらに、今後のキャリアを見据えて、現代社会のデジタル化を理解するためにアルゴリズムの導入科目を履修し、興味が尽きない心理学も履修しました。GLAで幅広く学んだ結果、将来は人文学・社会学・科学の知識を総合的に活用できるイノベティブな仕事をしたいと思い、コンサルタント会社に就職しました。

学びのアドバイス

- ・ GLAでは、上回生でも導入科目を含めて自由に科目を選択できるので、その時の興味に応じて学ぶことができます。
- ・ 4年間のリベラル・アーツの学びを通じて得た問題発見・解決力は、卒業後のキャリアを支える大切なスキルです。大学での学びや実践はあくまでも出発点。一生を通じて知識と知恵を磨きましょう。